

避難所となる学校体育館に 最適な天井材&床材

学校体育館は、災害時に地域住民の命と生活を守る重要な避難拠点である。しかし、建物の安全性や快適性が十分に確保されていないケースも多く、改善が求められている。こうした課題に対応するため、建材メーカーである(株)エービーシー商会では、避難所となる体育館に最適な天井材「かるてん®abc天井システム」と床材「レックスコート」を提案している。

ポリエステル系不燃軽量ボード 「かるてん®abc天井システム」

軽さと不燃性を同時に
実現、体育館の

「特定天井」対策に

東日本大震災では、体育館の吊り天井が落下して人的被害が発生したことから、

学校では既存の天井材を補強して耐震性を高める工事が進められている。

このような「特定天井」に該当する構造については、安全性の検証と確保が義務づけられていることから、

「かるてん®abc天井システム」が学校を始めとする体育館に導入されている。

ポリエステル製タテ型不織布「V-Lap®」をガラスクロスで包んだ「かるてん®」は、従来のボード材に変わる、軽さと不燃性を同時に実現した天井材になる。

用途に合わせた4工法で
軽量天井施工が可能



【施工事例】愛媛県愛光学園キャンパス整備計画体育館新築工事

施工方法は4種類あり、用途に応じた軽量天井施工が可能である。例えば「かるてん®abcスクリユ」は、簡易的な組み立てが可能な専用のアルミ製下地材を使用し、下から「かるてん®」をビス留めする施工方法になる。

また、体育館に美観性を

天井材と床材を見直し、避難者の安全と快適性を確保

高弾性衝撃吸収シート床材 「レックスコート」

足や膝への負担を
軽減し、ケガ防止にも

避難所生活では、体育館の床が主な居住空間となるが、空調設備の整備率はまだまだ割にとまっており、冬季には床の冷えが避難者の

の健康を脅かす要因となっている。また、避難生活の長期化に伴い、高齢者や妊婦などの転倒によるケガのリスクも高まっている。

こうした課題に対応する床材として注目されているのが、スポーツ施設やリハビリ施設用の

高弾性床材



【施工事例】東京都狛江市立狛江第四中学校体育館

「レックスコート」だ。本床材は、日本学校体育研究連合会の「優良体育用品認証マーク」を取得しており、スポーツ時の激しい動きにも対応する衝撃吸収性を備えている。転倒時の衝撃を緩和し、ケガの防止に寄与する点が特徴

である。また、シート床材のため、フローリングで懸念されるささくれも発生することなく、安心して使用できる。

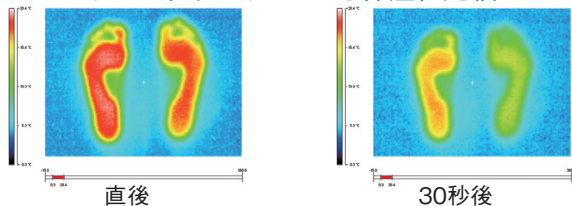
避難者にとっては、一般的なフローリングに比べて足腰への負担が軽減され、冷えにくい性質や減音効果によって、寒さやストレスの軽減にもつながる。

断熱性や保温性を
より高める工法

さらに、オプションのテクセル床工法協会の工法と組み合わせることで、断熱性や保温性を高めることができる。また、落下音や運動音の反響も抑制できる。構造がシンプルなため、省施工・短工期を実現でき、硬さ・衝撃吸収性のカスタマイズが可能なの魅力になっている。

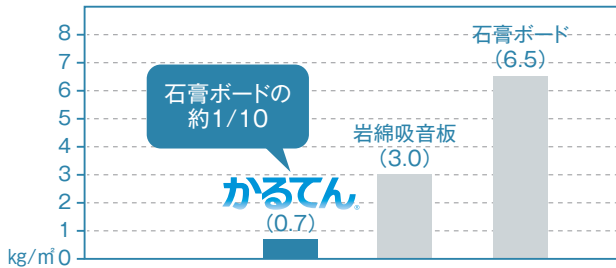
優れた断熱性により、文科省が学校体育館などの避難所機能強化として進める「空調設備整備臨時特例交付金」(2033年度まで、補

サーモグラフィーによる保温性比較



■問い合わせ:(株)エービーシー商会 電話【かるてん】03・3507・7232
【レックスコート】03・3507・7221 <https://www.abc-t.co.jp/>

天井材の単位面積質量比較



エービーシー商会